

# インデッパ®月刊 Web マガジン

## 48期 10月号

2022/11/1

発行第3号

# 月間出荷枚数 1052269



LOGISTICS LEADER

★10月35期以来の出荷枚数100万枚達成、率直にどう感じていらっしゃいますか？

物流部 門田哲郎

M：ホント、感無量です。

みんなの努力が積みあがっての、13年ぶりの100万枚出荷なので、今はその喜びを噛みしめているところですし、とっても達成感があります。

物流部として、方針発表をさせて頂いたように、100万枚出荷に対する段取りをシミュレーションし、想定はしてありました。

しかしながら、物事は計画通りには進まないこともあります。10月で言えば、出荷が多い週もあれば少ない週もあり、山が読みにくかったのも頭を悩ませた要因です。

ただ、これをみんなで乗り越えることができたので、この経験を次に活かしたいと思います。



OPERATOR

★以前の100万枚と、今期の100万枚の違いは現場で動いていてどのように感じましたか？

物流部 青滝希

A：10年前は今よりも遅い時間まで出荷作業をしていましたし、運送会社も荷物を待って下さっていました。

今は、より効率化を進めることができ、物流部がスムーズに出荷できる体制に進化していると感じます。

ST班の活用、第3倉庫で作業できるなど、以前はなかった取り組みが定着しているのも要因かと思えます。

普段仕事をしていて、過ぎたことはあまり考えない前向きな性格なので（笑）、今後も物流部のメンバーみんなが仕事を楽しみ、お客様へミスなく出荷できるように切磋琢磨していきたいと思っています。



LABELMAKER

★以前の100万枚と、今期の100万枚の違いは現場で動いていてどのように感じましたか？

物流部 藤井義久

F：私は現在、ラベル課の業務と品質管理を並行して行っています。どちらも非常に重要な役割と認識していますが、さすがに10月は8割をラベル課の業務に費やしましたね。チームの皆が支えてくれたお陰で乗り越えられたと思います。

13年ぶりに100万枚出荷しましたが、この達成感と数字の持つ意味は、

『強いインデッパが戻ってきた』という勢いを感じています。100万枚出荷できたのが～楽しかったあの頃～の昔話ではなく、絶好調だった当時の実力を超え、会社として成長できた証と捉えることができるのではないのでしょうか。



SALESMAN

★48期10月、池田さんにとってどんな1ヶ月でしたか？

営業部 池田一裕 喜ばれ高1億円！！

I：私の営業スタイルとして「攻めてナンボ」という姿勢ですが、ここ数年営業を担当させて頂いた中で最も「攻められなかった」1ヶ月でした。

というのは、関東・北海道のお客様から店追加やインデッパの商品が欲しい！という要望が多すぎて、こちらから攻める前に攻められた感じです。

それは、インデッパの商品がお客様に貢献できている証拠ですし、たくさんの方がご購入して下さいということです。それだけ、インデッパの商品は素晴らしいです。これからも、全国、全世界の多くの人に装う幸せを届けていきます！



SALESMAN

★48期10月、三ツ石さんにとってどんな1ヶ月でしたか？

営業部 三ツ石享平 喜ばれ高1億円！！

M：10月はとにかく忙しかった…！という印象です。自分の得意先では、もちもちセーターの契約枚数が前年の倍以上になるなど、特に量販店さんが爆伸びして、ホット商品力に助けて頂いた10月になったと思います。

個人的にも、前期7700万円の実績から、今期は1億1,000万円と、昨対140%伸ばせたのはとても自信になりました。今後もお客様と信頼関係をより良いものにし、来期も更に貢献できるよう営業活動をしていきます。

## 100万枚突破は、通過点。

10月、大活躍の5名にインタビューさせて頂きました。池田さんと三ツ石さんのギラギラした眼をご覧ください。←←←

まだまだいけそうです。

48期スタートして、4分の1が終了しました。

この3ヶ月の成績は、喜ばれ高昨対30%UPと、このご時世で素晴らしい成果と言えますね。

義久さんが言われていた『勢いが戻ってきた』という言葉が印象的でした。

イケイケどんでん喜ばれ高がうなぎ上りだった15年程前。予算は達成して当たり前、50億のバーも飛び越えて、普通に100億円まで到達するような雰囲気、当時のインデッパにあったと振り返ります。みんな若かったし。

そこから、経済活動の停滞、取引先様の店舗縮小などがあり、コロナ禍にも突入。

『100万枚出荷』はどこか、遠い過去の話。という雰囲気もあつたと思います。

ただ、リーダーが言われた

『過去最高を目指そう』

これが、流れを変えたのではないのでしょうか？

もちろん、改善点はたくさんあると思いますが、それらをクリアしていきさえすれば、インデッパはまだ成長できます。

100万枚出荷、私達はまた達成できたのですから。